



今月の表紙は、中央公園に咲くハート型の桜です。たまたま見つけて撮ったのですが、今回の特集が被災者支援についてと決まり、表紙はこの写真以外思い浮かびませんでした。幸田町の皆さんからの大きなハートがこれからも被災地を支援し続けていきますように。

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 情報G
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)
FAX63-5139

ここのたの民話

「田植え観音」 六栗

昔、六栗に信心深いおばあさんが、一人で住んでいて、毎日近くの観音寺にお参りしていました。

近所は、もうすっかり田植えがすんだのに、このおばあさんの田んぼだけは、すんでいません。

「やれやれ、この年になると、田植え仕事はきついのう。」

と、田植えをしていたときです。「はい、おじゃましますよ。田植えを手伝いますよ。」

と、一人のおばあさんが、手伝ってくれました。

「それはまあ、どこのお方が存じませんがご親切に。いつ終わるやらと、ほとほと困っていたところですよ。」

「一人より二人、重い荷物も二人で担げば軽いといひますよ。」

といい、せっせと手伝ってくれるではありませんか。その上、このおばあさんの田植え仕事の早いこと早いこと。広い田んぼもあっという間に終わってしまいました。田植えがすんだかと思うと、

「はい、おじゃましたね。おいとましますよ。」

そう思ったかと思うと、そばの松の木にぱっと飛び上がり、あっという間におばあさんの姿が、見えなくなりました。

その晩にきらきらと光り輝くりっぱな人が現われ言いました。「これ、ばばよ。われは観音寺の観世音ぼさつである。お前は、毎日お参りを欠かさず感心である。今日は、ばば一人での田植えは大変だなと思ったので、手伝った。仏を信じる心、いつまでもなくすではないぞ。」

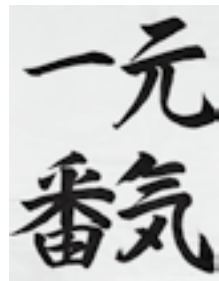
おばあさんは、夜が明けるとすぐ、観音寺への道を急ぎました。なんと観音様の足に、田んぼの泥がついているではありませんか。昨日手伝ってくださったあのおばあさんこそ、この観音様だったのです。おばあさんは改めて手を合わせ、うれし涙を流し、いっせやお参りを続けたということです。（「ここのたの民話」の要約）



みやがわ しほ
北部中1年 宮川 詩布 さん

みんなの作品展!

今月の作品は、平成22年度健康の町推進
入選作品（描画の部）からのセレクトです。



ひらの こうき
北部中2年 平野 光起 くん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報ここのた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

日本こんにやく協会のサイトに、よいこんにやくの見分け方、こんにやくの作り方のほか、「こんにやくの田舎煮」「こんにやくの牛肉巻きステーキ」などのレシピ集が掲載されています。

5月29日は「こんにやくの日」です。「529」がこんにやくの語源に似た数字であること、こんにやくは5月ごろに種芋を植え付けることから、財団法人日本こんにやく協会が制定しました。

こんにやくは昔から「おなかの砂おろし」や「胃のほうき」などといわれてきました。これは、食物繊維の豊富なこんにやくを食べることで体に不必要なものを掃除する、という意味です。こんにやくに含まれる食物繊維・こんにやくマンナンは、腸内細菌叢を改善することによって大腸がんや大腸ポリープなどの大腸疾患のリスクを軽減させることが知られています。また、こんにやくマンナンの摂取によって、耐糖性が改善され、インスリン分泌の節約効果があるため、糖尿病の予防になります。

こんにやくは、やんわりと大腸を刺激して、排便反射を高め、おなかをすっきりさせます。さらに、カルシウムの摂取もでき、骨や歯の成長や精神安定の作用があります。

今月の記念日

5月29日は「こんにやくの日」

※参考資料：財団法人日本こんにやく協会 <http://www.konnyaku.or.jp/>



青春トークリレー

△△第218走者△△

おさだ **長田 ゆきみ** さん

里区在住 23歳 保育士

身長 161cm B型

好きなタイプ 深い心で温かく見守ってくれる人

好きな芸能人 GLAY

私は、幸田町で生まれ、幸田町で育った根っからの幸田っ子です。小さな時から幸田が大好きで、毎日毎日パワーをもらっています。この町にこれ以上望むことは何もなく、本当にすごく幸せだから、これ以上望んだら罰が当たるんじゃないかなって思います(笑)。

やってみたいことはたくさんありますが、20歳の時に、一つの事をやり通す人たちのすばらしさや強さに感動したので、何でも手を出すのではなく、今やっていることを地道にこつこつとこなしていけたらいいなと思います。

多くのことを吸収して、こんな人になりたいなと思ってもらえるような人に成長していきたいです。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。希望者は企画政策課まで。



わんぱくどより

「某月某日」
「豊坂保育園」

春！

豊坂保育園の子どもたちはたくさん散歩に出掛けます。コースはさまざま、田んぼのあぜ道を通ったり、山に登ったり、狭い道も急な坂道もなんのその！子どもたちはどんどん先へ進んで行きます。そして、この季節ならではの草花を見つたりしています。特によもぎは保育園に持ち帰り、給食のおばさんをお願いしておやつに入れてもらっています。子どもたち

に自分たちが採ってきたよもぎがおやつに入っていることを伝えると、とてもうれしそうです。「苦くないね」「葉っぱのつぶつぶが見えるよ」などと盛り上がっています。

散歩を通して身体的にも精神的にも成長していきます。幸運にも豊坂保育園の周りには山、川、田んぼなどの自然がたくさんあります。子どもたちにはこの自然の恩恵から、たくさんものを胸いっぱい、身体いっぱい吸い込んで、学び、大切な感覚を身に付けていってほしいです。



ちよと編集者のひびき

▼4月の人事異動で財政課に異動しました。3年間、取材などでいろいろな人との出会いがあり、とても楽しく仕事をさせていただき、ありがとうございます。今後は陰から広報ごうたを応援していきたいと思っています。私にとっての最終号も家族との会話を紹介します。

ある日、家族みんなで朝食を食べようとしたときのことです。息子「なんで、お父さんのご飯は、いつもこんなに多いの？」妻「お父さんは一家の大黒柱だからね。(子どもの前ではそういうことなしとこ)」息子「なんちゃって大黒柱じゃない？」私「ん…(するどい)」娘「なんで、がいこくのはしらの？お父さんは失敗するとよく『オーマイ、ゴット！』って英語をしゃべるから外国なの？」私「オーマイ、ゴット！」

もう一つ、土曜日の朝、ちよと遅く起きてきた娘に、私「○○(娘の名前)は寝る部屋でゴトゴト音がしていたけど、何していたの？」娘「私はね、仕事じゃなくて『ねごと』しってただよ。」私「寝事ですか…」前の日に子どもは遊ぶことが仕事だよと言った話を聞いていました。娘いわく布団の上でごろごろすることを「ねごと」と言うそうです。

4月の人事異動により新しく広報担当になりました(T)です。一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。